

第2回災害対策プレゼンテーション 彩の国東大宮メディカルセンター

第2回災害対策プレゼンテーションにて、落雷停電時における血液浄化センターでの対応について発表しました。

2024年7月24日（水）12:31にさいたま市内で落雷による停電が発生しました。当院には非常電源がありますが、当日作動せず約30分完全に停電してしまいました。その際に、部屋の光量確保や生食での返血、紙媒体での経過記録などを行いました。その後完全に復電するまで2時間ほど時間を要しましたが、職員間での情報の共有や患者さんへの説明など、医師や看護師と連携を図り無事に透析を行うことができました。

この経験を通して、災害訓練の大切さや、日頃の業務から災害を意識することの大切さを実感しました。今後は患者さんならびに職員の安全のためにも、災害訓練やアクションカードなどを見直し、災害に対する備えをしていこうと考えています。

彩の国東大宮メディカルセンター 臨床工学科 小島柊也 東京工科大学出身



状況

- ✓ 透析中の患者：6名
- ✓ プラントμにて糖水処理1件
- ✓ スタッフ CE：8名 Ns：5名
- ✓ 非常用電源使用不可
- ✓ 全ての電力供給がストップ
- ✓ 落雷のため全館停電していることを確認

血液浄化センター以外のCE
病棟：2名
ICU：2名
手術室：2名

12:31

行動

- ✓ 患者に状況説明
- ✓ 血液浄化センター内の状況把握
- コンソール停止画面、血液ポンプ作動している、赤の警報ランプが点灯バッテリー駆動、機械室は正常に動作
- ✓ スタッフに5分計測を指示
- ✓ 透析中患者の残り透析時間を調査
- 30分以上1名、15分以内5名

今後に向けて

- ✓ 普段行っている災害訓練などは非常に大事である
- ✓ いつ起こるか分からない災害を意識して、日頃の業務を行うことが重要である

↓

- ✓ アクションカードや訓練の見直し
- ✓ 有事の際の科内の権限や連絡方法を周知

